

情報社会と科学(11/2) もっと勉強するために

『不思議現象 なぜ信じるのか こころの科学入門』菊池聡ほか、1995年、北大路書房

『ニセ心理学にだまされるな!』古澤照幸、2007年、同友館

『「心理テスト」はウソでした。』村上宣寛、2005年、日経BP社

『科学と非科学の間』安齋育朗、1995年、かもがわ出版（筑摩から文庫化）

『血液型と性格 その史的展開と現在の問題点』（『現代のエスプリ』324巻、1994年7月）

大勢の心理学者により多面的に検討されています（現在は残念ながら品切れのよう）

『新訂 血液型と性格』大村政男、1998年、福村出版

「究極の血液型心理検査」<http://www.senrigan.net/bloodmind/index.html>

（バーナム効果体験サイト）

「北岡明佳の錯視のページ」<http://www.ritsumei.ac.jp/~akitaoka/>

ニセ科学に対するウェブサイト:

菊池誠氏のページ(大阪大学)

ニセ科学への精力的な批判が展開されています。ブログ「kikulog」も強力です。

<http://www.cp.cmc.osaka-u.ac.jp/~kikuchi/index-j.html>

立命館大学・サトウタツヤ氏のページ「血液型性格判断を疑ってみよう！」

<http://www.psy.ritsumei.ac.jp/~satot/newversion/dont/blood.html>

物事を批判的(クリティカル)にとらえるために:

『超常現象をなぜ信じるのか』菊池聡、1998年、講談社ブルーバックス

『クリティカル進化論 『OL進化論』で学ぶ思考の技法』

(ぶん)道田泰司、宮元博章、(まんが)秋月りす

「クリティカル シンキング」がキーワードです。

『おかしな科学 みんながはまる、いい話コワイ話』渋谷研究所 X+菊池誠、楽工社

ニセ科学全般について、対話形式でわかりやすく解説されています。